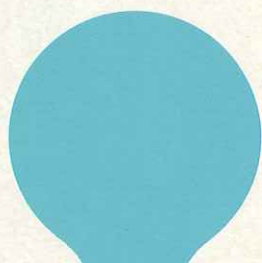
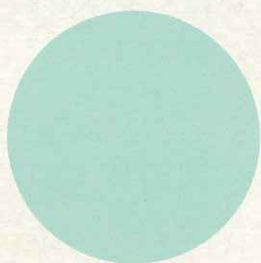
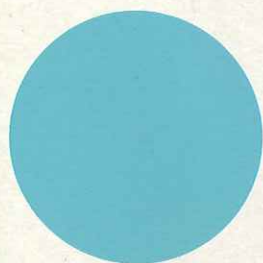
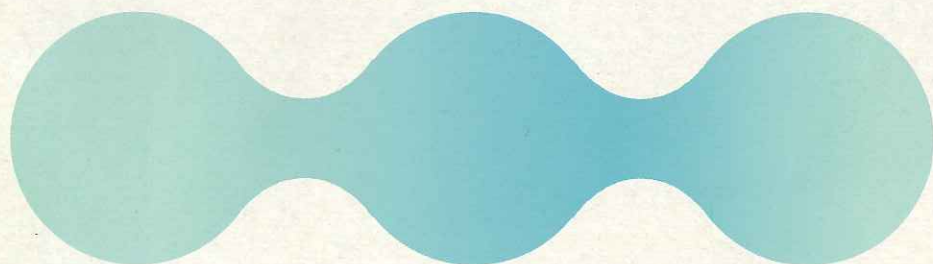
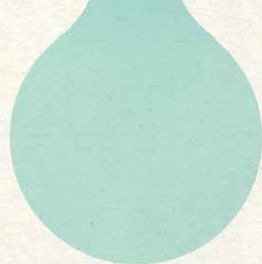
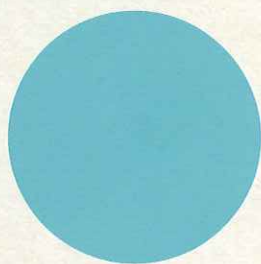
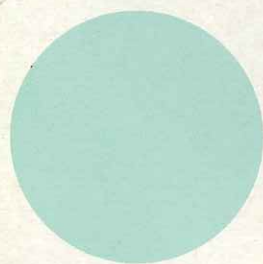
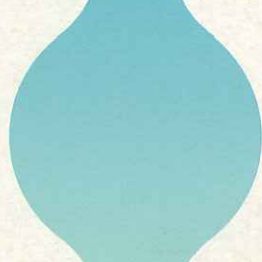


# 地域×NPO 連携ガイド



もっと知る、もっと繋がる



# 目次

はじめに	・・・1
「地域」と「NPO」なぜ連携？	・・・2
連携をすすめるポイント	・・・4
NPO による地域ネットワーク事業とは	・・・8
事業成果紹介	・・・10

## はじめに

近年、少子高齢化や価値観の多様化などに伴い、地域の課題が複雑・多様化し、これまでの取組では解決が難しくなっています。今後、地域のまちづくりにおいては、住民同士の支え合いや助け合いが重要になると考えられます。そのためには、NPOや町内会、学校、企業など地域社会を構成する様々な団体が、地域の課題を自らの問題と考え、互いに連携・協力していくことが必要となってきます。

この冊子は、NPOと町内会等が連携・協力して地域の課題解決に取り組む「NPOによる地域ネットワーク事業」の実施内容を紹介するとともに、地域でNPOと町内会等が連携するためのポイントなどを取りまとめたものです。

作成にあたり、事業を実施したNPOおよび地域の方々に、ヒアリングや取材にご協力いただき、連携に向けた、たくさんのヒントをいただきました。是非、みなさまの今後の活動のご参考にしていただけましたら幸いです。

### 地域×NPO連携ガイドのねらい

- NPOや町内会など地域の多様な団体が連携する目的やメリットなどについて解説しています。
- 他の地域での取組みの参考となる事例やネットワーク構築のためのポイント、ノウハウを紹介しています。

# 「地域」と「NPO」なぜ連携？

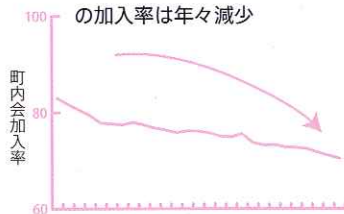
## 今、地域では

地域課題が複雑化しています！  
高齢化、人口減少が進み、担い手不足が深刻化しています！

地域の課題

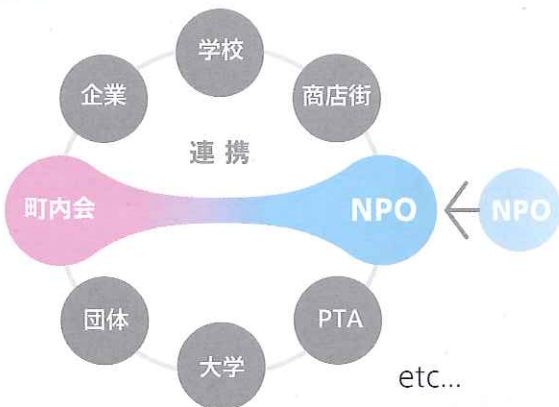


地域組織の中核である町内会への加入率は年々減少



### 【様々な団体による連携】

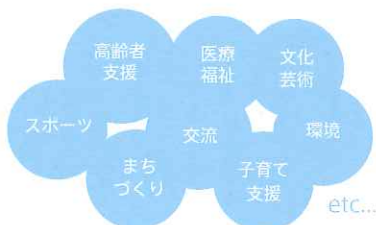
様々な地域課題の解決や、まちづくり活動の活性化には、町内会など地域のまちづくりを担う団体がお互いに連携しながら取組を進めることが求められています。



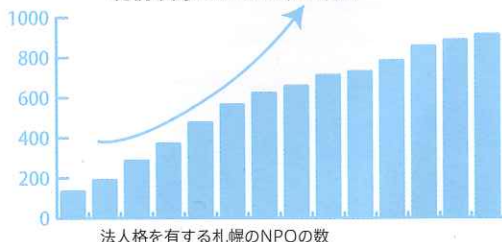
## NPOとは？

様々な分野で社会貢献活動を行う民間非営利組織で、社会的な使命を達成することを目的として活動しています！

NPOの活動



社会活動等への意識の高まりにより札幌市内のNPOも年々増加





# 連携して、それぞれの強みを 活かし合う！

ここでは、地域のまちづくりの担い手の中心となる町内会と、  
NPOの連携を中心に考えていきます。

## それぞれの強み

### 町内会の強み

- 地域に根ざしている
- 地域住民や地域の他団体とのつながりが強い

### NPOの強み

- 活動分野についての専門性が高い
- 客観的かつ柔軟な視点を持っている



子育て支援に取り組む  
NPOとの連携により、  
多世代交流を進めます。

## 強みを活かして連携



NPOの専門性と町内会のネットワーク  
を活かし、高齢者の見守り活動など  
新たな取組を始めます。



町内会とNPOの様々な人材が  
関わることで地域のまちづくりを  
活性化します。

## 地域

- NPOが持っている専門的なノウハウを活用することができます！
- 地域の外からの情報を得ることができ、自分たちの地域を客観的に見ることができます！

## NPO

- 活動の場が増えます！
- 活動の内容が充実します！
- NPOへの社会からの理解や支援が広がります！

# 連携をすすめるポイント

## 連携の流れ

NPO と地域が連携して活動を展開する際、大きな流れとして以下のようなステップを経ることになります。

### 1.両者の出会 (きっかけづくり)



連携活動は、まず第一に連携相手を見つけることから始まります。

そのためには、NPO は地域と接触する機会を増やし、地域のキーパーソンとつながりをつくるなどの土壌づくりや、自分たちの想いや活動内容を伝えていくことが大切です。また、町内会等でも地域の状況や住民ニーズなどを見つめ直し、より良い活動に向け、NPO などとの連携について検討することが大切です。

### 2.合意形成



連携相手が見つかったら、どのように事業を進めていくかの合意形成を図る必要があります。

合意形成を図るにあたっては、まず課題や目標をNPO と町内会等で共有する必要があります。

また、NPO も町内会等もお互いを知る努力をし、コミュニケーションを図っていくことが大切です。

### 3.連携に取り組む

お互いの持つ強みを活かせる事業計画をつくり、相乗効果をもたらすように役割分担をしながら、地域の課題に取り組んでいきます。

連携を継続させていくには、事業を振り返って改善点を整理するなど連携が一過性のものとして終わらない仕組みづくりが重要です。

# 両者の出会い(きっかけづくり)

お互いの強みを生かし合える『連携相手』に出会うためには？

まずは  
土壌づくり  
から！

## 出会いのための土壌づくり

### NPO

- 地域と接触する機会を増やし普段からつながりをつくっておく
- 地域のキーパーソンとのつながりをつくる
- 様々な媒体を活用した情報発信をする

### 町内会

- 地域の状況や住民のニーズを見つめ直してみる
- 地域の課題を地域全体で共有する
- 様々な媒体を活用した情報発信をする

相談  
してみる！

## まわりに想いを伝えてみる

### NPO

- 中間支援組織や地域の市民活動の中心となっている人などに自分たちの想いを伝える
- まちづくりの関係団体が集まる協議会などに参加してみる

### 町内会

- 地域の市民活動の中心となっている人などに町内会の課題などを相談してみる

### 日頃から繋がりづくり



### 情報発信する



### 相談する

この町内会とNPOをつなげたら良いかも!  
○○の活動をしているNPOです! 地域の方と○○はできませんか?



## 地域と連携できる活動団体は意外と近くにいるかも…?!

札幌市内ではNPOを始めとした多数の市民まちづくり活動団体が、地域に根ざして活動しています。札幌市で活動するNPOは年々増加しており、平成27年3月現在、法人格を持つNPOの数は900以上あります。活動分野は、保健・福祉、まちづくり、芸術・文化、環境、子ども・高齢者支援など多岐にわたります。札幌市のNPOについては、ホームページをご覧ください。

<http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/index-1.html>

相手に出会えたら、まず『課題や目標を共有する』ことから始めましょう。  
そして、連携していくための『良好な関係づくり』も不可欠です！

まずは  
これから  
始める！

### 課題や目標を共有する



- お互いの課題やニーズを出し合ってみる
- お互いできることを出し合って柔軟に考える

お互いに  
歩み寄ること  
が大切！

### 連携のための良好な関係づくり



- お互いに歩み寄る
- コミュニケーションを重ね、信頼関係・連帯感を築くプロセスを経る

#### NPO

- 地域の文化や基本的な地域の仕組みを理解する
- 責任の所在を明確にするなど地域に信頼される組織体制をつくる
- 地域のニーズに即した提案を行う
- NPOの中で合意形成を図ることも大切

#### 町内会

- NPOの想いや運営体制などの仕組みを理解する
- 地域住民(活動に関わる人)に活動の意義を分かりやすく伝える
- 町内会以外の団体も含めて地域の中で合意形成を図ることも大切

#### コミュニケーションをはかるために

より良い関係を築くため、地域の恒例行事やイベントをコミュニケーションを図るきっかけとして活かすことも考えられます。

#### お互いに歩み寄る

一方的に主張したり、作業を押し付け合うのではなく、互いを理解した上で、歩み寄りながら活動に取り組み、対等な人間関係をつくるのが大切です。

#### 時には中立的な立場の方の力をかりる

中立的な立場の方が地域とNPOの間に入って話をするすることで、よりスムーズに合意を得られる場合があります。



実際に、連携活動に取り組む、その取組を継続させていくためには？

取組を始める時はまずはこれから



### 事業計画や収支計画、役割分担を考える

- 役割を分担する際は、各主体ができることや強みを上手く組み合わせる
- 地域内の情報・ネットワーク・信頼関係を活かす
- 誰もが参加しやすい仕組み・ルールをつくり、地域の新しい人材(資源)を発掘しながら活動を広げていけるようにする

取り組んでいる時はこれが大切!



### 楽しむ! 情報共有! そして、まわりの理解を得る!

- お互いに楽しんで取り組む
- 取組を行っているもの同士できめ細やかな情報共有をする
- 取組を広く地域の人などに伝えて活動に対する理解を得る

取組を継続させていくために



### 取組を振り返り改善する

- 取組を振り返り、どこかに負担が偏っていないか、スケジュールに無理はなかったかなど課題を整理し、次の取組に活かす
- 取組の継続のためには、必要な資金を確保できる仕組みづくりも不可欠

## 取組継続のためにそれぞれが気をつけること

#### NPO

- 地域に負担がかかりすぎないようにする
- 責任を持って使命を果たす覚悟が必要
- 取組を担当した人がいなくなっても活動を継続できる体制を作る

#### 町内会

- NPO に負担が偏りすぎないようにする
- 地域の他団体との情報共有に努め、協力関係を構築する
- 取組を担当した人がいなくなっても活動を継続できる体制を作る

## 大学などとの連携も

大学や研究機関などの専門機関とも連携することで、活動に広がりが出ることもあります。

## 活動を広く地域に伝える

例えば、住民向けの報告会を開催したり、活動報告を町内会の回覧板でまわしてもらうなど、地域の方々に広く取組について理解してもらうことが、賛同者や協力者を増やすことにつながります。

# NPOによる地域ネットワーク事業とは

## 概要

複雑・多様化する地域の課題解決に向け、ノウハウや資源を有する多様な活動団体の連携・協力を通じたネットワーク構築を図るため、NPOと地域の町内会、学校、商店街、企業などが連携・協力して、継続的に地域の活性化等に取り組む新たな事業に財政的支援等を実施します。

### NPOによる地域ネットワーク事業(平成25年度より実施)

1.内容	地域にネットワークを持つNPO から町内会等と連携して地域の課題解決や活性化等に取り組む事業企画を募集し、補助金を交付
2.補助金額	1事業につき上限2,000千円
3.補助率	10/10 ※単年度のみ
4.補助対象経費	事業に関わる経費(建設費、食糧費、経常的経費等を除く)
5.要件	・NPOと地域の協働提案であること ・2年度目以降、自立して事業を継続できるスキームであること

### NPOによる地域ネットワーク・チャレンジ事業(平成26年度実施)

1.内容	地域との連携協力関係が未構築のNPOから、町内会等と連携することで地域の課題解決や活性化が見込まれる事業企画を募集し、地域の連携先との関係構築や事業化を支援
2.支援内容	①地域との連携・協力関係構築の支援 ②事業化支援(事業検討や計画作成を支援) ③補助金交付 ※補助内容は上記ネットワーク事業の2~5と共通

## NPOによる地域ネットワーク事業

	事業名	NPO名	連携地域	事業費 (千円)	実施 年度	紹介 ページ
1	地域支え合い事業	特定非営利活動法人 シーズネット	第2もみじ 自治会	2,000	H25	10
2	青葉地区ネットワーク 「集いの場『わ・わ・わあ つべつ』」推進事業	日常生活支援あつべつ・ たすけ愛ふくろう (任意団体)	青葉町自治 連合会	1,964	H25	12
3	野菜のなる公園事業 ～プランコがあるように野 菜が実り、ふれあいにあふれ た公園を子どもたちへ～	特定非営利活動法人 あぐりぱる	石山六区 町内会	1,964	H25	14
4	「桑園かわら版」の利用 者拡大による桑園地域 の活性化事業	桑園交流ネットワーク (任意団体)	桑園地区連合 町内会	1,000	H26	16
5	「地域のまちづくりを若 者の教材に」澄川地域と 連携した若者育成事業	特定非営利活動法人 ezorock	澄川商工会	2,000	H26	18
6	ふじの朝市&フリーマー ケットで藤野地域の交流 促進・賑わいづくり事業	特定非営利活動法人 さっぽろ福祉支援ネット あいなび	藤野緑町 町内会	2,000	H26	20
7	小別沢教育ガーデン	特定非営利活動法人 あおとり	小別沢町内会	1,883	H26	22
8	障がい者への理解を含 めた地域の接点として の事業	特定非営利活動法人 ピースマイル	発寒連合 町内会	891	H26	24

## NPOによる地域ネットワーク・チャレンジ事業

	事業名	NPO名	連携地域	事業費 (千円)	実施 年度	紹介 ページ
9	地域密着のインターネット テレビ放送局事業 ～大学生を核にした 映像による地域おこし～	特定非営利活動法人 地域おこし研究所	本郷町内会	1,802	H26	26



事業成果紹介①

## 地域支え合い事業

### NPO 紹介

**名 前** 特定非営利活動法人 シーズネット

理事長 奥田 龍人

**所在地** 北区北10条西4丁目1番地SCビル2階

**設 立** 平成13年7月

**活動目的** 高齢者自身の主体的かつ創造的な生き方を  
目指すための活動として、「仲間づくり」、「居場所づ  
くり」、「役割づくり」、「支え合い」をキーワードにし  
た事業を行い、豊かな高齢社会の推進に寄与する。

**H P** <http://www.seedsnet.gr.jp/>

### 地域紹介

**名 前** 第2もみじ自治会

昭和40年代に開発された住宅地。  
少子高齢化と人口減少が進むな  
か、地域のつながりをさらに深め、  
支え合いによる明るく安心なまち  
を目指し、さまざまなまちづくり  
の取組を進めている。

7色のカラフルな「なないろテント」を使い、公園や空き地など住民に身近な場所で野外サロンを開催することで、地域住民が気軽につどい、交流できる場づくりを行い、地域住民が家族のようにつながり支え合う「地域家族」の構築を目指している。「なないろテント」には、もみじ台が1丁目から7丁目までで構成されていることから、住民を虹のようにつなぎたいという願いをこめている。第1回目のサロンには外部からの来場者も含めおよそ120人が来場した。平成25年度は、アコーディオン演奏・合唱会、パーベキュー、認知症カフェ、雪明かりの路など野外サロンを5回開催し、延べ405名の参加があった。カラフルでかわいい「なないろテント」を見て興味が湧いて参加した方も多く、“まず興味をもってもらう”のに効果的だった。2年目以降は、野外サロンのほか、社会福祉協議会や児童会館などへ「なないろテント」の貸出しも行っており、そこから人と人のつながりも生まれている。

### 第2 もみじ自治会

・野外サロンの実施など

### 特定非営利活動法人 シーズネット

・ボランティア派遣  
・野外サロンの企画、運営支援

## 「地域」×「NPO」連携のポイント

今回、事業を行った際の連携のきっかけ、連携を継続し深めていくポイントなどについて「特定非営利活動法人 シーズネット」理事の杉谷憲昭さんと青木基成さんに伺いました。

まずは地域の  
キーパーソン  
に相談



**地域のキーパーソンが積極的に動いてくれたことで、  
地域住民と協働の取組が始まりました。**



最初に、第2もみじ自治会の役員の方々などに、今回の事業の主旨を説明した時は、「忙しいからできない」等の意見が大半でしたが、自治会の会長に事業の企画や必要性などを熱心に説明したところ、「やってみましょう」と関係者への説得を快く引き受けてくださいました。地域のなかで信頼されている会長からの協力の呼びかけで、事業が動き、地域の方々との協働が始まりました。

連携を継続・  
深めていく  
ために



**今後も連携して活動が続いていくために大切なのは、  
お互いに楽しむことと、地域に事業主体を移して行くこと。**



まずは、参加者も運営者側も「楽しむ」ということが大切だと思います。「来てよかった」「やってよかった」ということがお互いの心に残れば次回の励みになり、継続につながります。それから、地域が主体的に自らの課題に取り組んでいけるよう、運営主体を地域に移していくことが大切だと思います。最初の1年はNPOから仕掛け、基本的に支援は3年間とし、1年ごと徐々に手を引いていきます。ただし、最終的に連携が無くなるという訳ではなく、何かあればいつでも気軽に相談してもらう関係は続けていきます。



## 事業成果紹介②

# 青葉地区ネットワーク 「集いの場『わ・わ・わ あつべつ』」推進事業

## NPO 紹介

**名 前** 日常生活支援あつべつ・たすけ愛ふくろう

代表 澤出 桃姫子

**所在地** 厚別区厚別南 2 丁目 10-4

**設 立** 平成24年4月

**活動目的** 有償ボランティアによる助け合いの仕組みを整え、医療や介護など公的サービスの対象とならない地域住民の困りごとの解決に取り組む

**H P** <http://www.fukuro.or.jp/>

## 地域紹介

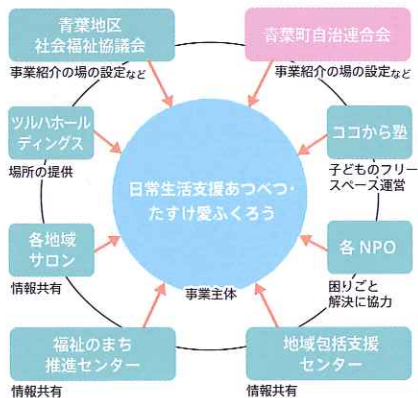
**名 前** 青葉町自治連合会

厚別区の南に位置する青葉地区は札幌市で高齢化率が最も高い地区である。高齢者の独居世帯が 800 数世帯を超え、引きこもりによる孤立化が問題となっている。

子どもから高齢者まで、あらゆる世代が気軽に立ち寄り、くつろぎ、交流し、身近な悩みごとを解決できる場として『集いの場『わ・わ・わあつべつ』』を開設。地域住民の有償ボランティアによる助け合いの仕組みを整えるとともに、地域の様々な団体と連携しながら、地域住民・自治連合会・NPO・行政等が一体となった地域全体を支えるネットワークづくりを目指している。

初年度となる平成25年は、困りごとや問い合わせの件数が約140件あり、対応回数は約1,900回となったほか、ココから塾と連携して運営している子どものフリースペースは、約700人の利用があった。

平成26年から、新たに厚別区の介護家族の集まりの会場や、地域住民向けの認知症患者支援講座の会場としても活用されるなど、連携の輪が広がっている。



## 「地域」×「NPO」連携のポイント

今回、事業を行って感じた連携して良かったこと、連携を継続・深めていくポイントなどについて「日常生活支援あつべつ・たすけ愛ふくろう」代表の澤出桃姫子さんに伺いました。



**多様な団体と連携し事業を進める際には、お互いに役割(できること・できないこと)を理解し、能力を活かし合うことが大切です。**

自身もこの地域に住み、町内会や民生委員の活動を行うなかで、地域との連携を築いてきたと話す澤出さん。さらに今回の事業を行う中で、地域の企業や他団体との新たな連携により活動の幅は広がったといいます。民間企業の協力により、地下鉄駅からすぐの好立地に集いの場を設けることができ、地域の方々が気軽に立ち寄れる場となりました。また、子育て支援を行うココから塾と集いの場を共有することで、子育てに関する地域のニーズにも対応できるなど、地域の方々の様々な困りごとに対して切れ目なく対応できるようになってきたと感じています。さらに、連携して事業を進める中で、町内会や民生委員、介護保険事業所などの方々が「地域の困りごと相談窓口」として『わ・わ・わあつべつ』を紹介してくれるようになり、地域にも浸透してきました。



**連携先の団体との交流を深め、地域の課題を共有しながら、ともに解決方法を考えていきたいと思っています。**



厚別区内のNPO、地域サロン、社会福祉協議会、地域包括支援センターなど多様な団体が集まり、地域の課題について情報交換し、解決を図る協議会にも参加しています。これからもこうした連携を継続し、地域の方々から信頼され、多くの方に気軽に訪れてもらえる相談窓口、集いの場を目指していきたいと考えています。



事業成果紹介③

## 野菜のなる公園事業

～ブランコがあるように野菜が実り、ふれあいにあふれた公園を子どもたちへ～

### NPO 紹介

**名前** 特定非営利活動法人 あぐりぱる

理事長 東海林 幸恵

**所在地** 南区石山 637番地6

**設立** 平成24年2月

**活動目的** 農業を通して子どもの健全育成を図る活動、  
社会教育の推進、地域と連携したまちづくり、  
雇用機会の拡充などの支援を行う。

**H P** <http://www.agripal.jp/>

### 地域紹介

**名前** 石山六区町内会

札幌市内ながらも、生鮮野菜を栽培する農村  
地帯に位置する町内会。昨今、過疎化、高齢化  
などの課題を抱えているが、地域には子ども  
たちに伝えたい自然や知恵が沢山ある。



地域の遊休農地等に、誰もが自由に散策できるコミュニティファーム「野菜のなる公園」を開設。公園で栽培する野菜やお米を、子どもたち自らが収穫・調理し、実際に食べる機会を提供することで、子どもたちに命の大切さを知ってもらい、生きる力をつけてもらうことを目的に活動している。さらに、市内から公園に人が集まり、地域が活気づききっかけとなることを目指している。平成26年度は、田植えから収穫まで一連の体験プログラムを実施し、各回10名程度ずつ、のべ50名程度が参加した。今回の体験プログラムでは、決まった日しか農業体験をすることができなかったが、将来的には、子どもたちが好きな時に畑に来て作業を行える公園にしていきたいと考えている。

特定非営利活動法人  
北海道ふるさと  
帰帰支援センター

- ・広報、運営、会計  
実務等のアドバイス
- ・運営に参画など

石山六区町内会

- ・畑用地の無償提供
- ・町内会館の使用許諾
- ・運営に参画など

特定非営利活動法人  
あぐりばる

- ・事業主体

(株)  
ふるさと  
ファーム

法人スタッフが  
あぐりばるを立ち上げ  
活動を側面支援

## 「地域」×「NPO」連携のポイント

今回、事業を行った際の連携のきっかけ、連携を継続・深めていくポイントなどについて「特定非営利活動法人 あぐりばる」理事長の東海林幸恵さんに伺いました。

地域との  
信頼関係  
づくり



**地域との信頼関係は、コミュニケーションを積み重ね、日常的に関わる中で築いてきました。**

今振り返ると、平成23年に農業生産法人である(株)ふるさとファームを設立し、地域に入った時は、地域の方々から少し不安に思われていたかもしれないと話す東海林さん。町内会長さんの畑の手伝いなどを積極的に行ったり、町内会の春のゴミ拾い活動など地域行事にも参加し、地域の皆さんと交流することで、そこから少しずつ打ち解けていくことができたとのこと。平成25年度に今回の連携事業を始めたときには、町内会との関係も良好で、地域の方々にも積極的に事業に協力していただくなど、地域との連携・協力関係は十分にできていたと言います。



連携を継続・  
深めていく  
ために



**活動をもっと地域に周知して、地域の人材を巻き込みながら、さらに地域との関係を深めていきたいと思っています。**



地域には、農業に従事している方や、昔、農家をしており、農業のノウハウを知っているという方が沢山います。そういった多くの方々に、もっと子どもたちの先生になってもらいたいと思っています。そのためにも、地域の方々にごの事業をもっと周知して、連携をより深めていきたいと思っています。



#### 事業成果紹介④

## 「桑園かわら版」の利用者拡大による 桑園地域の活性化事業

### NPO 紹介

**名 前** 桑園交流ネットワーク

代表 金内 芳雄

**所在地** 中央区北4条西15丁目

**設 立** 平成23年2月

**活動目的** 桑園地区に住みまたは活動している市民・市民団体(NPO)・事業者・行政が連携して、桑園地区が楽しく安心して暮らせるまちづくりを目指し活動する。

**H P** <http://souen-kawaraban.jimdo.com/>

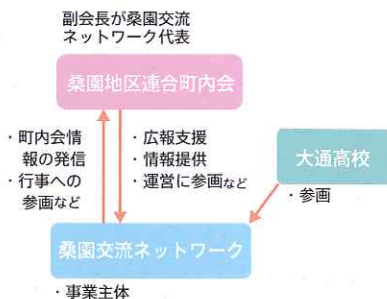
### 地域紹介

**名 前** 桑園地区連合町内会

札幌市のほぼ中心部に位置し、北部に札幌競馬場、南部に知事公館や道立近代美術館、ミニ大通があるなど比較的緑の多い地区となっている。近年、新築マンションの増加により、人口増が著しい。

## 活動内容

桑園の街を、もっと楽しく、住みやすく、安心して生活できる場にしたいとの思いから、平成22年に地域の情報交換の場として桑園交流ネットワークが誕生。平成23年の正式な設立の際に選任された代表が連合町内会の副会長でもあったことで、連合町内会との連携も深まった。毎年様々なテーマで活動しているが、平成25年度は地域の情報をホームページで伝える「桑園かわら版」の運用を開始した。今回の事業では、桑園かわら版のアナログ版であるポスターを作成し、駅や商業施設、マンションなどに掲示することで、町内会の回覧板をあまり目にしない方や、インターネットを利用しない方にも桑園地区の情報を伝えるツールとなった。さらに、連合町内会にも協賛していただき「桑園のステキを発見」をテーマに桑園フォトコンテストを実施し、地域の写真を募集したところ、123点が集まり地域の魅力を再発見することができた。



## 「地域」×「NPO」連携のポイント

今回、事業を行って感じた連携して良かったこと、連携を継続・深めていくポイントなどについて「桑園交流ネットワーク」代表の金内芳雄さんと事務局の石塚祐江さんに伺いました。

連携の成果

町内会をはじめ様々なネットワークを活用し、多彩な情報を掲載できるため、かわら版がより魅力あるものになっています。

桑園かわら版のアナログ版であるポスターは、町内会や地域の情報を掲載しており、はじめは病院や駅などを中心に当団体から掲示のお願いに回っていましたが、今では掲示先自らポスターを取りにきてくれる様になり、手応えを感じています。毎月、NPOや町内会、企業、高校生など関係者が集まって内容を検討し、地域の様々なイベントや話題をタイムリーに掲載しているため、普段、町内会の回覧板に目を通さない地域の方々にも興味を持って見ていただいています、と金内さん。



連携を継続・深めていくために

これからも地域と互いの取組で協力し合いながら、連携を深め活動を継続していきたいと考えています。



当団体と連合町内会や町内会をつなぐパイプ役として、連合町内会の副会長でもある代表の存在がとても大きいと感じているという石塚さん。町内会の行事などの情報が入れば団体の会員もその行事に参加することで、地域の様子を知り、絆を深める機会になっているとのこと。また、町内会の情報を地域に伝える役割を果たす桑園かわら版のアナログ版の継続は重要だと考えており、いろいろなルート、チャンネルで資金を募り、来年度以降も地域のみなさんが馴染んできたデザインで発行を続けると、意気込みを語ってくれました。



## 事業成果紹介⑤

# 「地域のまちづくりを若者の教材に」 澄川地域と連携した若者育成事業

## NPO 紹介

**名 前** 特定非営利活動法人 ezorock

代表理事 草野 竹史

**所在地** 中央区南9条西3丁目1番7号

**設 立** 平成25年3月

**活動目的** 青年層を対象に、地域で発生する様々な課題に対して、青年層が自発的に考え行動する機会を提供することで、次世代につながる社会づくりに貢献する。

**H P** <http://www.ezorock.org/>

## 地域紹介

**名 前** 澄川商工会

澄川商工会や澄川連合会などが実施してきた地域のお祭りの廃止や縮小など、高齢化の影響が表面化しつつある。一方で、近隣には札幌大学や平岸高校等があり、若者の姿が多く見られる地域でもある。

## 活動内容

澄川地域が抱える課題を実践型学習の教材と考え、学生を中心とする若者が「調査・実践・取りまとめ」を行う場づくりを行うことで、地域の課題解決と、若者の人材育成の双方向を目指した。具体的には、まち歩きを実施したり、地域のお祭りなどへの参加を通して澄川地域の資源集め、澄川の方々との顔の見える関係づくりを行なった。取組の成果としては、澄川地域を紹介するフリーペーパーの発行や、「あったかセミナー」と題して学生が講師となり、乾燥野菜の話をしたり、染め物体験プログラムを提供するなど多世代交流できる場を企画・実施した。



## 「地域」×「NPO」連携のポイント

今回、事業を行った際の連携のきっかけ、連携を継続させるポイント、地域を感じるメリットなどについて「特定非営利活動法人 ezorock」代表理事の草野竹史さんと、「澄川商工会」会計の日向寺良子さんに伺いました。



### NPO の中間支援の方からの紹介が始まりました。

最初のきっかけとなったのは、設立当時から気にかけてくれていたNPOの中間支援の方から、平成18年に、「ezorockも商店街とかかわってみたいか」と、澄川地区を紹介されたことでした。その後、お祭りを通じて地域との連携を積み重ね、2年ほど前からお互いの顔が一人一人分かるようになってきて、関わりが深くなり、活動もしやすくなりました。さらに、商工会と大学生が意見交換をする会議に参加する機会があり、学生が地下鉄を降りた後、商店街を素通りしてしまうのではなく、商店街で足を止め、中をまわるようにすることが課題だとわかり、今年、この事業に取り組むことになりました。



### NPO が決意を持って活動に参加すること！

連携継続のポイントは、NPOとして、「地域と付き合う」ということだけではなく、さらに一歩踏み込み、「決意を持って地域の活動に参加していくことだ」と草野さんは、最近強く感じているとのこと。過去に何度か単年度の連携事業を行ったものの、なかなか地域との協力関係を築けなかったという経験から、ここ10年は、澄川にこだわり活動を続け、関係を深めていると言います。



### 若い人が地域活動を手伝ってくれることで、地域がイキイキとしてきました！



町内会に若い人がなかなか入ってこない現状の中、ezorockさんや大学生が手伝いに入ってくると、イベント自体に勢いが生まれ、カラフルで生き生きした雰囲気が出るように感じますと話す日向寺さん。町内会だけで、このように若い人たちを巻き込むのは難しいとのこと。また、ezorockさんで活動している学生は他の同年代の学生とくらべて、社会に触れてきた時間や場数が違うからか、商工会のニーズをよく理解してくれる様に感じ、一緒に活動しやすいとのこと。



事業成果紹介⑥

## ふじの朝市& フリーマーケットで 藤野地域の交流促進・賑わいづくり事業

### NPO 紹介

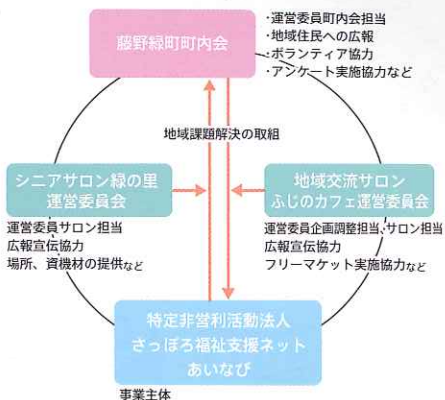
- 名 前** 特定非営利活動法人  
さっぽろ福祉支援ネット あいなび  
理事長 下川原 清美
- 所在地** 南区南34条西11丁目2番12号
- 設 立** 平成18年12月
- 活動目的** 障がい者や高齢者等の移動支援や生活支援を行うとともに、多世代が集える場所を提供する地域交流支援を行い、全ての人々が健やかに安全に暮らせる地域社会作りと福祉の増進に寄与すること
- H P** <http://www.7.plala.or.jp/ainabi/index.html>

### 地域紹介

- 名 前** 藤野緑町町内会
- 藤野緑町町内会地区は、高齢化率が30%を超える超高齢化地域。身近な場所に気軽に参加できる子育て支援の施設がなく、店舗や喫茶店などの地域住民が交流する施設もあまりないという課題を抱えた地域である。

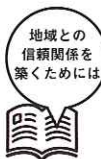
## 活動内容

高齢化が進み、地域住民の交流の場も少なくなっているという地域の課題を受け、平成26年7月からさっぽろ福祉支援ネットあいなびと町内会、シニアサロン運営委員会などが連携し、高齢者の買物支援や多世代交流を目的とした「ふじの朝市&フリーマーケット」を開始した。新鮮な魚介類や野菜、加工食品などを扱う約8店舗に出店してもらい、住民が楽しく買物できる朝市と、古着や古物などの売り買いを通して住民同士が交流できるフリーマーケットを、月に1~2回のペースで開催している。朝市とフリーマーケットでは、カフェや生演奏、漫才、ネイルサロンなどの催しも行われるなど地域住民が楽しく交流できる仕掛けや工夫があり、賑わいある地域コミュニティづくりに一役買っている。



## 「地域」×「NPO」連携のポイント

今回、事業を行って感じた信頼関係を築くポイント、連携して良かったことなどについて「特定非営利活動法人 さっぽろ福祉支援ネット あいなび」理事長の下川原清美さんに伺いました。



**全ての情報を正確に話して共有し一緒に活動を始めること。そして、普段からのつながりづくりも大切です。**

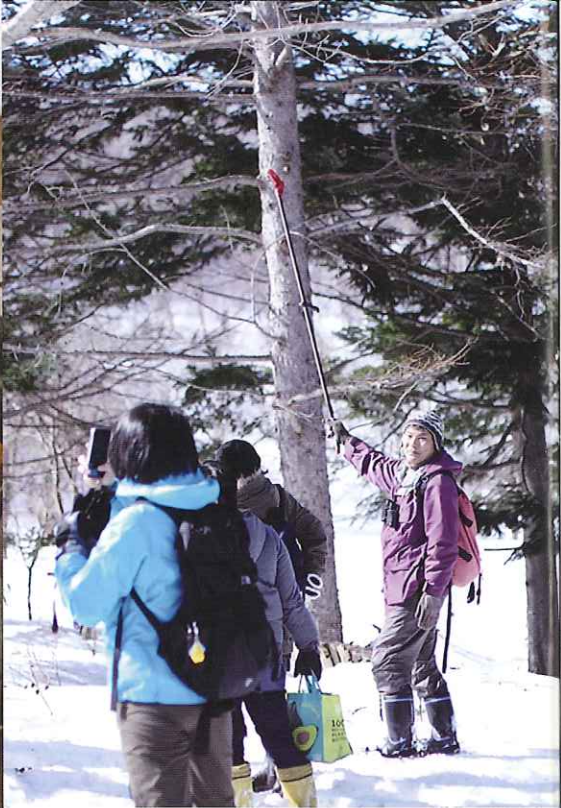
想定している事業について、始めから正確に連携先に伝え、相談して決めることが大切で信用につながると話す下川原さん。また、まちづくりセンターなど行政につなぎ役になっていただくことも有効とのこと。元々町内会の役員をやっていたこともあって、町内会とのつながりはありましたが、まちづくりセンターの所長さんが応援してくれたことで、町内会からの信頼もより一層厚いものになったと思います。また、町内会の活動などで、日ごろから地域の人たちと仲良くさせてもらい、みなさんに応援していただいたことが今回の活動の成功につながったと思います。実績をつけ信用されるNPOになるということも大切ですが、普段から地域とのつながりを大切にして活動していくと、それが地域の方々の信用につながり、地域と共にまちづくり活動ができるのではないかと思います。



**私たちのNPOのことを地域の方々に分かっていただけたことが一番の成果だと思います。また、地域主導で活動に取り組む基盤ができたことも成果だと感じています。**



地域の方にNPOとは何かと聞かれ、「非営利で社会貢献活動を行う団体」と説明してもなかなか理解してもらえませんでした。共に地域の課題解決に向け朝市等の活動に取り組み、交流するなかで、私たちの活動への理解が広がってきたと感じています。また、町内会など地域の方々に、朝市が地域活性化につながることを実感していただいたので、地域主導で活動を進める基盤もできたと思います。来年度からは、NPOの役割はサポートに留め、少しずつ地域の方々に朝市の開催をお任せし、自ら主体となって地域活性化に取り組んでいただきたいと思います。



事業成果紹介⑦

## 小別沢教育ガーデン

### NPO 紹介

**名 前** 特定非営利活動法人 あおいとり

代表理事 永田 勝之

**所 在 地** 西区小別沢3番地

**設 立** 平成15年10月

**活動目的** 豊かな自然を活かした様々な生活体験を共有することで、障がい者をはじめ全ての人々が平等に社会的、文化的な活動に参画する機会を創出し、地域の環境保全及び福祉・教育の増進を図ること

**H P** <http://garden-society.com/>

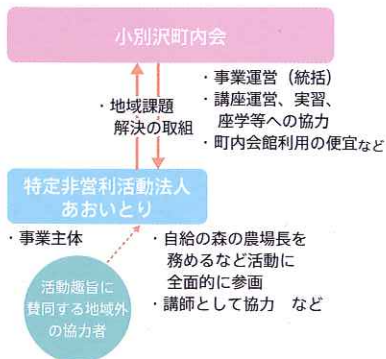
### 地域紹介

**名 前** 小別沢町内会

小別沢地区は札幌の都心近接の位置にあり、長年営農環境が維持されてきた。緑の多い人里としての魅力にあふれた地域であるが、農業者の高齢化と後継者不足によって徐々に農地が失われ、荒地化も危惧されている。



小別沢の自然や農地をキャンパスと位置づけて、専門家や地域の農業者が先生となり、里山の自然観察や放置されている農地の開墾と畑作、収穫物の加工、野菜学、家畜学などの座学、ベーコンやチーズづくり体験を織り込んだ「自給の森」という講座を開講。単なる家庭菜園のノウハウではなく、自然との共生および自給的な暮らし方を学ぶ場を提供している。この講座を通して、小別沢の里山としての魅力づくりを進めるとともに、緑の里山の重要性を多くの市民に伝え、都市住民を交えた多様な活動の場づくりを行なっている。



## 「地域」×「NPO」連携のポイント

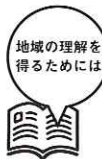
今回、事業を行った際の連携のきっかけ、連携する際のポイントなどについて「特定非営利活動法人 あおいとり」代表理事の永田勝之さん、「自給の森」農場長の安齋伸也さんに伺いました。



**地域課題に直面し、まずは、地域を考えるワーキンググループを立ち上げるとことから始めました。**



小別沢には27軒の住宅があり、そのうち7軒が営農していますが、高齢化による後継者不足が課題となっていました。農業をやめざるをえないという話もありましたが、明治から続けてきた農地が荒れていくのは悔しいという地域の方々の想いと、この地域の環境に魅せられて移住してきた私たちの、自然環境が守られ、もっと都市住民の癒しや憩い、農的活動の場になってほしいという想いが重なり、昨年(平成26年)、地域住民等の有志で「今後の小別沢のあるべき姿」について考え、町内全体に提案するワーキンググループを立ち上げました。以来、ワーキンググループにおける月数回の話し合いが、この事業の原動力になっています。



**地域の方が活動・運営のコアメンバーとして参画してくれることで、自然と活動の様子が伝わり、地域の方々の理解を得ることに繋がります。**

地域の問題を明らかにし、互いに共有することには難しい面もあり、「自給の森」の活動趣旨についても、地域の方々からすぐに100%理解していただいたわけではなかったと話す永田さんと安齋さん。しかし、町内会会長や農業者の方がワーキンググループの中心として協力的に活動に参加してくれたことや、自給の森の運営メンバーに地元農家の家族の方が参加してくれたことで、活動の様子が地域の方々に徐々に伝わり、「何か楽しそうにやっているな」という印象を持っていただけになってきたと言います。これからは、今までよりもっと地域の人々との人間関係を密にしていけることが大切だと感じており、次年度の「自給の森」では、地域の方に講師になってもらい、小別沢の歴史にも踏み込んでいくなど、より広く深い活動の環を広げていく予定とのこと。





## 事業成果紹介⑧

# 障がい者への理解を含めた 地域の接点としての事業

## NPO 紹介

**名前** 特定非営利活動法人 ピースマイル

理事長 植村 雅樹

**所在地** 西区発寒5条3丁目9-3

**設立** 平成24年2月

**活動目的** 社会で孤立しがちな、知的障がいや精神的障がいのある方々の支援を行うこと。また、地域の一般住民に障がいについての理解を深めてもらい、障がい者との相互理解を促すこと。

**H P** <http://www.p-smile.jp/>

## 地域紹介

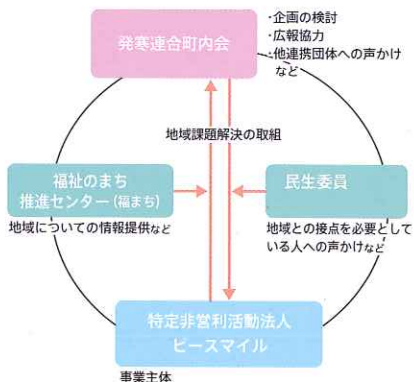
**名前** 発寒連合町内会

琴似発寒川を南端に、JR 函館本線と地下鉄東西線(二十四軒手稲通)に囲まれた南北に細長い区域である。JR 発寒駅や地下鉄宮の沢駅付近では、大型ショッピングセンターもありマンション建設による人口増加も著しい地域となっている。

## 活動内容

ピースマイルは、就労継続支援B型施設の運営による障がい者の就労支援等を行っている。障がい者が活動を通して地域から理解され安心して暮らしていけるよう、地域住民の困りごとの解決を支援する「お助けサービス」など地域に根ざした活動にも取り組んできた。

今回の事業では、障がい者やひきこもりがちな高齢者など社会的な弱者のコミュニティの場づくりを目的に、参加者が共に食事をしながら交流を楽しむ「昼食会」を週2回程度開催。町内会や民生委員、福まちなどと連携し地域の高齢者等を中心に参加を呼びかけ、平成27年2月末までにのべ約50人が参加した。その他にも、「食」をテーマとした交流事業として、「冬の食生活に関する講習会」や「災害時の炊き出し体験」も行った。今後は、連携団体とのネットワークを活用しながら、さらに参加者の掘起しを図り、食事会の開催回数を増やしていきたいと考えている。



## 「地域」×「NPO」連携のポイント

今回、事業を行って感じた連携して良かったこと、連携を深めるポイントなどについて「特定非営利活動法人 ピースマイル」理事長の植村雅樹さんに伺いました。



連携により、地域の情報を共有でき、昼食会などへの参加につながりました。



昼食会への参加の呼びかけは、町内会の役員や民生委員の方に、見守りの必要な住民の方などを対象に行っていただきました。引きこもりがちになっていた住民の方が民生委員と一緒に昼食会に参加し、スタッフや施設の利用者と楽しく交流していただいたこともあります。また、福祉のまち推進センターと連携したことで、これまで当NPOと交流のなかった地域の高齢者や障がい者にも参加を呼びかけることができました。今後も、呼びかけとともにポスティング等での広報にも力を入れ、さらに参加者を増やしていきたいと考えています。



これからも、より積極的に地域活動に参加し、地域の課題解決を図って信頼につなげていきたいと考えています。



地域に入って活動を継続するなかで、次第に連合町内会などから信頼され、地域の方と関わる機会も増えてきていると感じています。平成27年度は、連合町内会の新年度の計画検討に参加させてもらうなど、1年を通した行事や取組にかかわれるよう連合町内会の方に相談しているところです。当法人の福祉に関する専門スキルを活かし、今回のような地域の課題解決につながる取組を提案していくことで、さらに地域の方々からの信頼を高め、この地域に根ざした活動を継続していきたいと考えています。



## 事業成果紹介⑨

# 地域密着のインターネットテレビ放送局事業 ～大学生を核にした映像による地域おこし～

## NPO 紹介

**名 前** 特定非営利活動法人 地域おこし研究所

理事長 西脇 隆二

**所在地** 北区北20条西5丁目2-1

**設 立** 平成26年4月

**活動目的** 福祉・環境などさまざまな社会問題についてソーシャルビジネスの視点から、産業界、学会、官界の相互強調と総合的なフィールドワークで地域おこしを図り、地域社会の再生をめざす。

**H P** <http://www.chiiki-okoshi.org/>

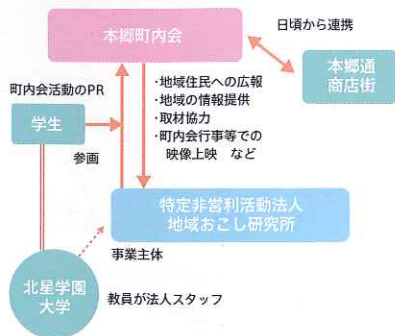
## 地域紹介

**名 前** 本郷町内会

白石区本郷通6丁目から9丁目に位置する50年以上の歴史を持つ町内会。町内会加入率は年々低下しているが、地域では約180店舗が加盟している本郷通商店街と町内会によるまちづくり活動が盛んである。

## 活動内容

大学生が町内会の活動や地域の人物、話題などを掘り起し、映像番組として編集し発信する。今回は、北星学園大学の学生を中心とした学生4名とNPO法人のスタッフによる映像チームが、ボランティア住民の困りごとを解決する「暮らし応援隊」や、交流事業「ふれあい広場ほんごう」「子育てサロン」などの本郷町内会の取組を取材、撮影し、7分程度の映像番組を作成した。番組は、平成27年3月、町内会の会合の際に開かれたお披露目会で上映された。今後は、YOUTUBEや法人ホームページ及び町内会ホームページ等で公開を予定している。



## 「地域」×「NPO」連携のポイント

今回、事業を行って感じた連携して良かったこと、連携を継続させるポイントなどについて「特定非営利活動法人 地域おこし研究所」副理事長の朝岡敏春さんに伺いました。

連携の成果

**NPOの能力を活かして、地域の素敵な活動を  
地域のみなさんに伝えるお手伝いができました。**



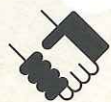
地域おこし研究所は設立1年目の若いNPO法人ですが、北星学園大学でマーケティングについて教鞭をとる西脇理事長の下、経営、人材育成、映像プロデュース、ブランディングなど多彩なスキルをもったスタッフが集まっています。地域との連携は今回が初となりますが、実際に地域に入り、自分たちの映像制作に関する能力を活かして、地域の情報を伝えるお手伝いができました。個々のスタッフの実績などを説明し、当法人のスキルを信頼してもらえたことで成功につながったと思います。また、本郷町内会がどんなことに力を入れ、どんなことをPRしたいのか直接会ってお話しを聞き、活動を見学させていただくなど実情を伺いながらニーズや課題を理解することも重要だったと感じています。会長をはじめ、町内会役員の方々にご協力いただき、取組をスムーズに進めることができました。

連携を継続し  
輪を広げて  
いくために

**今後は若い世代に焦点を当て、町内会活動への関心を  
高める取組を進めていきたいです。**



町内会には、新しく転入してきた若い世代の方たちがあまり町内会活動に参加しないという課題があります。若い世代にもっと関心を持ってもらえるよう、今後は地域の小学校などと連携し、子どもたちと一緒に映像番組を作成するなど、子どもとその保護者などに焦点を当てた取組をしていきたいと考えています。また、町内会の一部の役員にのみ負担がいかないように、町内会の集まりに参加している方々に協力のお声がけをするなど、地域の人材の発掘にも取り組んでいきたいと思っています。



もっと知る、もっと繋がる





## NPOとの連携について 相談してみましょう

# 札幌市市民活動サポートセンター



### 【目的】

札幌市市民活動サポートセンターは、札幌で活動しているボランティアやNPO団体など、さまざまな分野の市民活動団体を支援する総合拠点です。



### 【4つの機能】

- ① 情報提供や相談に応じます
- ② 研修学習の場を作っています
- ③ 団体同士の交流を支援しています
- ④ 団体の活動を支援しています



### 【概要】

場 所: 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ2階

開館時間: 月曜～土曜 8:45～22:00

日曜・祝日 8:45～20:00

休 館 日: 12/29～1/3(臨時休館はその都度お知らせ)

利用出来る方: 札幌市内で市民活動を行っている(市内に住所や事務所、勤務先・通学先があるか活動範囲が札幌市内である場合を含む)個人や団体、又はこれから行おうとする方。

※ご利用いただくためには、登録が必要です。

お問合せ: TEL 011-728-5888 / FAX 011-728-7280

HP <http://www.shimin.sl-plaza.jp>



### 【発行】

札幌市市民まちづくり局市民自治推進室市民活動促進担当課  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎13階

TEL 011-211-2964 / FAX 011-218-5156

E-mail [shimin-support@city.sapporo.jp](mailto:shimin-support@city.sapporo.jp)

HP <http://www.city.sapporo.jp/shimin/support/index-1.html>